

Ⅲ 付録（単純集計表）

性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	199	49.6
2	女性	202	50.4
サンプル数(%ベース)		401	100.0

年代別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20～39歳	107	26.7
2	40～59歳	143	35.7
3	60～79歳	151	37.7
サンプル数(%ベース)		401	100.0

地域別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	下越地域	21	5.2
2	新潟地域	184	45.9
3	中越地域	129	32.2
4	魚沼地域	24	6.0
5	上越地域	38	9.5
6	佐渡地域	5	1.2
サンプル数(%ベース)		401	100.0

問2 あなたは、新潟県で、毎年このように多くの方が自殺で亡くなっていることを知っていましたか。
(1つだけ選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	知っていた	259	64.6
2	知らなかった	142	35.4
サンプル数(%ベース)		401	100.0

問3 あなたは、自殺についてどのように思いますか。次の1から5のそれぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選択してください。(それぞれ1つだけ選択)

(全体 401人)

※上段:件数 下段:(全体)%

No.	選択肢	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう 思わない	わからない
1	生死は最終的に本人の判断に任せるべきである	61	105	75	116	44
		15.2	26.2	18.7	28.9	11.0
2	自殺せずに生きていれば良いことがある	143	152	42	22	42
		35.7	37.9	10.5	5.5	10.5
3	自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている	124	166	32	27	52
		30.9	41.4	8.0	6.7	13.0
4	責任を取って自殺することは仕方がない	14	30	57	258	42
		3.5	7.5	14.2	64.3	10.5
5	自殺は、その多くが防ぐことができる社会的な問題である	115	170	42	21	53
		28.7	42.4	10.5	5.2	13.2

あなたは、悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることのために感じますか。

問4 以下の中であなたのお考えに最も近いものを1つだけ選択してください。

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	そう思う	47	11.7
2	どちらかというと思う	179	44.6
3	どちらかというと思うは思わない	88	21.9
4	そうは思わない	73	18.2
5	わからない	14	3.5
サンプル数(%ベース)		401	100.0

問5 あなたの周囲には、不満や悩み、つらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人はいると思いますか。(1つだけ選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	そう思う	83	20.7
2	どちらかというと思う	179	44.6
3	どちらかというと思うは思わない	72	18.0
4	そうは思わない	41	10.2
5	わからない	26	6.5
サンプル数(%ベース)		401	100.0

働き盛りの男性は相談窓口を利用しないまま、自ら死を選択するケースが多く見られます。
問6 働き盛りの男性は、悩みを抱えていても、なぜ相談窓口を利用しないのだと思いますか。(いくつでも選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	悩みを相談するのは恥ずかしいことだと考えているから	165	41.1
2	相談しても、根本的な問題の解決にならないと思っているから	284	70.8
3	相談することで、自分の悩みを人に知られたくないから	153	38.2
4	自分が頑張っ、困難を乗り越えれば良いと思っているから	131	32.7
5	どの窓口を利用したらよいかわからないから	135	33.7
6	相談費用がかかるから	35	8.7
7	時間の都合がつかないから	59	14.7
8	経済・生活上の問題について弁護士や商工会議所等に相談したり、医療機関を受診していても、こころの相談窓口につながらないから	90	22.4
9	その他	16	4.0
サンプル数(%ベース)		401	100.0

問7 あなたは、このような症状が「うつ病のサイン」ということを知っていましたか。(1つだけ選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	知っていた	120	29.9
2	少しは知っていた	215	53.6
3	知らなかった	66	16.5
サンプル数(%ベース)		401	100.0

もし仮に、あなたが、家族など身近な人の「うつ病のサイン」に気づいたとき、専門の相談窓口(医療機関や相談機関)へ相談することを勧めますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選択してください。

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	勧める	268	66.8
2	勧めない	20	5.0
3	わからない	113	28.2
サンプル数(%ベース)		401	100.0

<問8で「勧めない」「わからない」と回答した方にお聞きします。>

問9 あなたが、身近な人に専門の相談窓口を勧めない(勧めるかどうかわからない)のはなぜですか。(いくつでも選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	ゆっくり休んだり気分転換をすることのほうが大切だから	47	35.3
2	時間がたてば自然に治ると思うから	10	7.5
3	病気に打ち勝つためには、本人が頑張った方がいいから	18	13.5
4	他の人の判断に立ち入りたくないから	24	18.0
5	自分の判断に自信がなくなためらいがあるから	52	39.1
6	自分が勧めても、言うことを聞かないと思うから	43	32.3
7	その他	13	9.8
サンプル数(%ベース)		133	100.0

問10 もし仮に、あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、以下の専門の相談窓口のうち、どれを利用したいと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選択してください。

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	かかりつけの医療機関(精神科や心療内科を除く)	55	13.7
2	精神科や心療内科等の医療機関	191	47.6
3	公的機関の相談窓口(保健所等)	37	9.2
4	民間機関の相談窓口(いのちの電話等)	42	10.5
5	その他	10	2.5
6	何も利用しない	66	16.5
サンプル数(%ベース)		401	100.0

<問10で「何も利用しない」と回答した方にお聞きします。>

問11 あなたが、専門の相談窓口を利用しないのはなぜですか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	お金が掛かることは避けたい	23	34.8
2	精神的な悩みを話すことに抵抗がある	23	34.8
3	時間の都合がつかない	6	9.1
4	どれを利用したらよいか分からない	19	28.8
5	過去に利用して嫌な思いをしたことがある	4	6.1
6	根本的な問題の解決にはならない	32	48.5
7	うつ病は特別な人が掛かる病気なので、自分には関係ない	1	1.5
8	治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う	3	4.5
9	その他	1	1.5
サンプル数(%ベース)		66	100.0

問12 あなたは自殺者数を減らすために、どのような取組が大切だと思いますか。(いくつでも選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	自殺の実態を明らかにする調査・分析	110	27.4
2	自殺に関する広報・啓発	93	23.2
3	様々な分野におけるゲートキーパーの養成	160	39.9
4	自殺対策に関わる民間団体の支援	72	18.0
5	様々な悩みに対応した相談窓口の設置	193	48.1
6	地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い	135	33.7
7	職場におけるメンタルヘルス対策の推進	189	47.1
8	子供の自殺予防	171	42.6
9	危険な場所、薬品等の規制等	37	9.2
10	インターネット上の自殺関連情報対策の推進	65	16.2
11	自殺未遂者の支援	92	22.9
12	自死遺族等の支援	56	14.0
13	適切な精神科医療体制の整備	125	31.2
14	その他	14	3.5
サンプル数(%ベース)		401	100.0

問13 あなたは、新潟県における自殺対策の普及啓発活動の中で、どのようなことを発信していくことが必要だと思いますか。(いくつでも選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	新潟県の自殺の実態	148	36.9
2	自殺の問題は社会全体の問題であること	184	45.9
3	自殺に対する正しい知識(自殺は様々な要因が複雑に関係して起きること等)	168	41.9
4	うつに関する情報(うつ病の症状や対処方法等)	200	49.9
5	悩みに応じた専門の相談機関・医療機関の情報	205	51.1
6	家庭や職場等での、こころの健康に配慮した声のかけ方・見守り方	193	48.1
7	ストレスに関する情報(ストレスを自分でチェックして適切に受け止める方法や、ストレスをためないコミュニケーションのとり方等)	155	38.7
8	睡眠などの休養に関する情報(休養の大切さや効果的な休養のとり方等)	104	25.9
9	その他	11	2.7
10	わからない	34	8.5
サンプル数(%ベース)		401	100.0

問14 新潟県では、テレビやラジオなど各種媒体を通じて「こころの相談ダイヤル」の広報を行っています。あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものを選んでください。(いくつでも選択)

No.	選択肢	件数	(全体)%
1	テレビCM	158	39.4
2	ラジオ番組	41	10.2
3	新聞の「県からのお知らせ」	72	18.0
4	県のホームページ	20	5.0
5	インターネット広告	21	5.2
6	県や市町村の広報誌	46	11.5
7	その他	6	1.5
8	見たり聞いたりしたことはない	154	38.4
サンプル数(%ベース)		401	100.0